

ピープル

鳥栖市桜町にある平屋の倉庫(約250平方メートル)。ここが「鳥栖卓球センター」だ。中には6台の卓球台、本格的な床と照明、外からの光を遮断する大型カーテンが張られている。日中は一般を、夕方からは小中学

生を指導する。82歳から小学3年の児童まで約50人の会員が汗を流している。若い卓球選手たちが世界

全国区の選手育成を

で活躍する時代。センターは昨年12月に開設された。「全国で常連と言われる子供たちがいるようなクラブ。そういう選手を出すのが夢です」。まずは2023年の佐賀国民スポーツ大会(団体)へ向けて選手を育てることだ。

脱サラで卓球場開設

岡本 篤郎さん(49)

鳥栖市



中学1年の時、卓球を始めた。高校、大学と続け、就職して3年間離れたが、熊本県八代市に転勤したのを機に再開した。アテネ五輪があった04

年、福原愛選手の成長を描いたドキュメンタリー番組を見て感動した。当時4歳だった双子の長男と長女にラケットを握らせた。転勤族で勤務地が変わるたび、その地の名門クラブに子供を通わせた。そこで「専門的にしっかりと指導する、そ

んな環境があることを知った」という。自身も付き添い、網を持って床に転がる球を拾った。拾いながらコーチ陣の指導に耳を傾け、ノウハウを吸収した。16年夏、会社を辞めた。卓球場は、実家の福岡県太宰府市に近く、卓球教室がなくて交通の便がいい鳥栖市を選んだ。日本スポーツ協会の上級指導員の資格を取得した他、卓球をリハビリなどに活用するため、日本卓球療法協会の卓球療法士の資格も取った。ジュニア層の育成をはじめ、ミドル層の健康維持、シニア層の卓球療法を目標とする。「老若男女を問わず誰にでもでき、天候にも左右されないスポーツ。卓球の魅力をこう話す。

【満島史朗】



前半、ゴールに突進するFW金崎夢生選手(中央)

浦和を1-0で破る

ホームで連勝飾る

サッカーJ1のサガン鳥栖はリーグ戦第21節の11日、鳥栖市のベリスタアメニティスタジアムで浦和レッズを迎えて対戦。1-0で競り勝った。鳥栖は前節のセレッソ

ソ大阪戦(ホーム)を白星で飾って7試合ぶりに勝利した。浦和との前回対戦は0-0で引き分けたが、今節は強力なFW陣を擁しての戦い。ホームでの連勝を目指し、浦和ゴールに迫った。スタジアムには大勢のサポーターが駆けつけ、大声援でチームを後押しした。浦和はリーグ戦再開後の5試合を3勝2分けと好調を維持。上位進出を目指し、鳥栖を攻めた。【満島史朗】

サガン鳥栖

ハブアード

シヨンで高級ブランド「エルメス」の偽の商品を付けたバッグと財布を計2万9000円で販売したとされている。容疑を認めている。2016年9月16日、山内町野崎。長男大川内

栄養強化 品質優秀 365日 朝夕に

佐賀みそ

佐賀県産、米、麦、大豆 使用

(株)北村醤油醸造

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町 0952(52)2441

【みやき町】小池トシヨさん87 西島422の2。12月午後1時、上峰町役場東のJAみやきセレモニホール。長男克哉さん。